

RACE



WoodyValleyパラグライダーハーネスは3年間保証付きです！！

ウッディーバレーハーネスについてオンラインカスタマー登録をいただいたお客様に、3年間保証をさせていただきます。

保証内容

- * 通常使用による保証期間 : 3年
(パーツ代や交換品については実費となります)

保障対象外パーツ(下記のパーツ及び部分については保証外・実費修理となります。)

- * ポッドハーネスのつま先部分(地面との摩耗部分)
- * ネオプレーンゴム部分
- * ジッパー
- * 超軽量ポッドハーネス RACE の頭部インフレーション部分
- * ハーネス本体以外の部品(カラビナ・プロテクション・成形用アクリル板(レキサン)・フットバー等

修理に際しての往復送料については、お客様負担とさせていただきます。



flight since 1977

Sports Opa Kite

(株)スポーツオーパカイト

東京 :

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-24-15

TEL: 03-3291-0802

<http://www.opa.co.jp/>

メンテナンス部:

〒315-0101 茨城県石岡市大増 1900

TEL: 0299-44-3642 FAX: 0299-44-3939

email: itajiki@opa.co.jp

THANK YOU !

この度はウッディーバレー社の製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この取扱説明書には重要な内容は記載されていますので、よく読んでください。特に最重要の2点について御注意ください。

緊急パラシュートの装填

あなたは緊急パラシュートによって命を救われるかも知れないのです。それは2日後に起きる事もあり得るし2年後かも知れません。いざと言うときに確実に役立つように取り扱しましょう。

ハーネスの調整

ハーネスはパラグライダーとパイロットをつなげる道具であり、フライトの楽しさと性能を最高に引き出すことのできる大切な存在です。出来の悪いハーネスでも最高の調整がなされていれば良いフライトを楽しむことができます。しかしどんなに良いハーネスでも調整が悪いと飛べたものではないのです。

このハーネスによってパイロットの皆様が、快適に飛び、楽にコントロールし、性能を引き出し、フライトの喜びを存分に味わえるようになることを確信しています。取扱説明書を読むのは退屈な作業かも知れませんが、パラグライダーハーネスは身近な家電製品などとは違います。正しい使用方法を理解していただいて事故のリスクを減らしてください。この取扱説明書には、あなたのハーネスの組立、調整、飛行、収納に必要な情報が全て入っています。自分の装備について漏れのない知識を持つことによって、パイロットの安全と飛行レベルは確実に向上します。

セーフティー ノート～安全に関するお知らせ

ウッディーバレー社のパラグライダー機材を購入していただくに当たって、購入者は適切なパイロット技量を認定されたパラグライダーパイロットであることを自ら認め、負傷ないし死亡を含むパラグライダー活動に伴う全ての危険性を引き受けられたものとします。ウッディーバレー社のパラグライダー機材の不正確あるいは不適切な使用はこれらの危険性を高めます。いかなる場合においても、ウッディーバレー社およびウッディーバレー社製品取り扱い店は、ウッディーバレー社のパラグライダー機材使用に関連したパイロット本人あるいは第三者の負傷、あるいはいかなるタイプの損失についても、責任を持つものではありません。ウッディーバレー社のパラグライダー機材の使用に関してのお尋ねは、まずご購入先かあなたの国の輸入店までお願いいたします。

ウッディーバレー社が発表している RACE の取り扱いに関する動画もご参照ください。

FEATURES（概説）<https://www.youtube.com/watch?v=67HPTTBVeOI&t=5s>

MANUAL（使い方）<https://www.youtube.com/watch?v=iWGYQBCSib0&t=15s>

STABILIZATION SYSTEM（スタビシステム）<https://www.youtube.com/watch?v=xc4yFYIE0Z8&t=2s>

Woody Valley

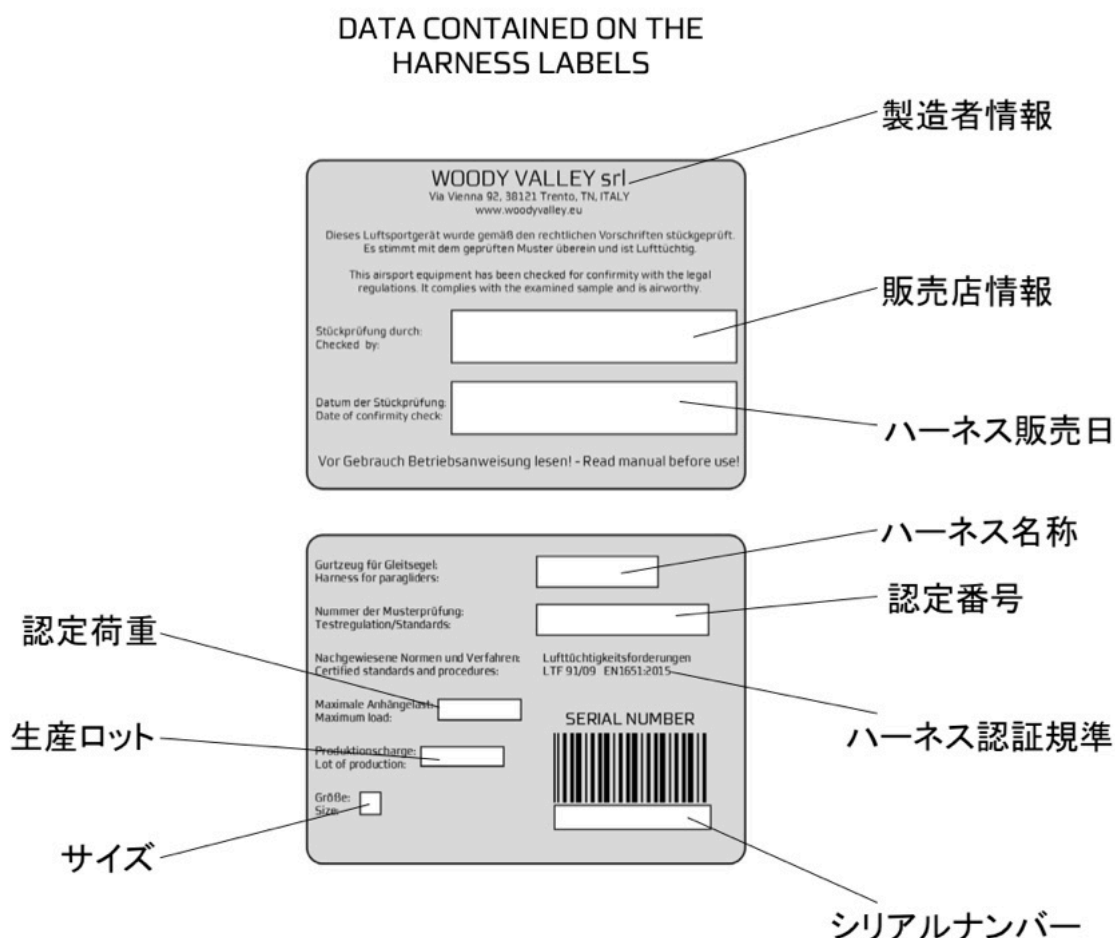
危険・警告	
1)	安全に正しくお使いになるために、ご使用前に必ずこの取り扱い説明書を最後までよくお読みになった上で、指示内容を守ってお使い下さい。
2)	本ハーネスはパラグライダー専用ハーネスです。その他の目的で使用しないでください。
3)	本ハーネスは改善等の為、予告なしに仕様・価格等を変更する場合があります。

INDEX

1- 一般情報報.....	5
1.1-コンセプト.....	6
1.2-RACEのプロテクション.....	6
1.3-セーフティーロックシステム.....	9
1.4-RECCOシステム.....	9
1.5-軽量素材についての注意.....	9
2-ハーネス使用の前に.....	10
2.1-緊急パラシュート.....	10
2.1.1-ハンドル付きデプロイメントバッグ.....	10
2.1.2-緊急パラシュートのハーネスへの取り付け.....	11
2.1.3-緊急パラシュートの装填.....	13
2.1.4-緊急パラシュートの収納ポケット.....	15
2.1.5-緊急パラシュートの開傘方法.....	15
2.2-ハーネス調整.....	16
2.2.1-チェストストラップの調整.....	18
2.2.2-肩ストラップの調整.....	18
2.2.3-シートとバックポジションの調整.....	19
2.2.4-レッグカバーの調整.....	19
3-RACEでのフライト.....	21
3.1-プレフライトチェック.....	21
3.2- ポケット.....	25
3.2.1-リアポケット.....	25
3.2.2-サイドポケット.....	25
3.2.3-セーフティーナイフポケット.....	26
3.2.4-メッシュポケット.....	26
3.3-ウォーターバッグ.....	27
3.4-コックピットの使用.....	27
3.5-尿排出チューブの使用.....	28
3.6-タンデムフライトの使用.....	28
3.7-水上でのフライト.....	28
3.8-トーイング フック.....	28
3.9-RACEハーネスでのランディング.....	28
3.10-ハーネスの廃棄.....	29
3.11-自然環境における活動への注意.....	29
3.12-グライダーを正しく取り付ける.....	29
4-スタビライザー.....	30
4.1-スタビライザーとの接続.....	31
4.2-スタビライザーとチェストストラップの調整.....	32
4.3-黒いゴム紐の調整.....	33
4.4-スタビライザー未使用時の保管方法.....	34
5-RACEハーネスの収納.....	35

6-スピードシステムの調整.....	36
7-メンテナンスおよび修理.....	37
7.1-バックプロテクションの定期点検.....	37
7.2-レッグカバーの交換.....	38
8-WoodyValley保証.....	40
9-ホモロゲーション証明書.....	41
10-テクニカルデータ.....	42

ハーネスコンテナトップ内のハーネス認証シルバーラベル



1- 一般情報

この取扱説明書はRACEハーネスの重要な一部であり、将来参照できるよう大切に保管してください。
パイロットは、RACEハーネスを使用する前にこの取扱説明書を注意深く読むことをお勧めします。

適合宣言

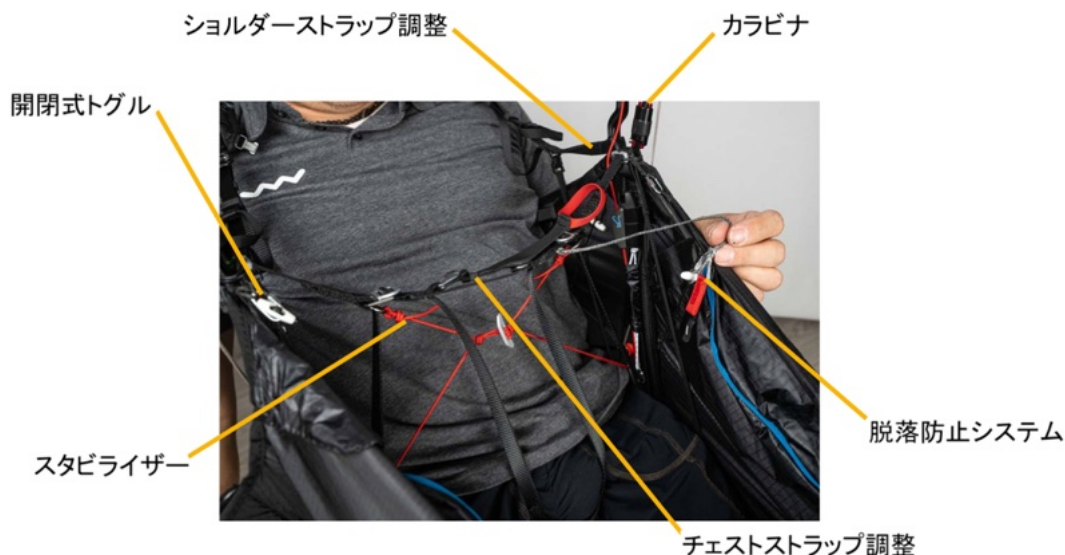
製造者であるWOODY VALLEY Ltdは、その製品がUNI EN 1651 - LTF 91-09 - CE 2016/425 規格に適合していることをここに宣言します。

この装備に含まれるのは:

- ハーネス
- カーボン製足プレート
- カラビナ2個
- ハンドル付き緊急パラシュートデプロイメントバッグ
- 緊急パラシュートコンテナ閉鎖用バンジーループ
- 3段ライトスピードバー
- ライトシールドプロテクション
- バックプロテクション(セミリジッドorインフレータブル)
- ジッパー付レッグカバー
- スタビライザー
- 空気取り入れ口用マイラー2枚

主なオプション:

- リュックサック
- セルバッグライト
- バラストバッグ(キャリングハンドル・チューブ・排出弁付き)
- アンチGドラッグパラシュート
- バックプロテクション(セミリジッドorインフレータブル)
- フットスライディングレッグカバープロテクション
- 40mmロンスタンプーリ
- セイフティーナイフ
- ソフトボトル



1. 1 コンセプト

RACEハーネスはパラグライダー用にデザインされたハーネスで、最大体重 120kgまで対応。ハイク&フライ、ビバーク、クロカンフライト、そして高いテクニカルパフォーマンスと正確な操縦性、快適性を求めるパイロットのためにデザインされた超軽量ハーネスです。プロテクター、スピードバー、コックピットを装備し、WoodyValley社が培ってきた技術を余すところなく注ぎ込んだハーネスです。このハーネスには「ゲットアップ」クローザーシステムが装備されています。



1. 2 RACE のプロテクション

RACEハーネスには2種類のプロテクションがあり、各パイロットは自分の好みに合ったものを選んで購入することができます。

PRS と呼ばれる最初のプロテクションは、変形可能な素材と10cmの高さで作られた新しいコンセプトのプロテクションです。このプロテクションは、強い衝撃を受けると変形し、交換が必要になるため、EN承認しか受けていない。

もうひとつは IPE と呼ばれるものです。このプロテクションは、GTO Light 2 でも用いられているインフレーター・プロテクション(Airプロテクション)を軽量化したもので、折りたたんだ際のハーネスの体積を小さくすることができます。このプロテクションはENとLTFの両方の認証を取得しています。このプロテクションは、便利なキャップのおかげで、飛行中でも膨らませたり縮めたりすることができます。



RACEハーネスのタイプに関係なく、プロテクションはシート下に配置され、ハーネスに付属し、WoodyValley社によってすでに組み立てられています。ハーネスがフライトに適した状態であることを確認してください。



定期的プロテクションの状態をチェックし、必要であれば交換してください。レスキューコンテナにアクセスするための通路は、背中下部にあります。プロテクターを取り外す前に、ゴムから外します。同様に、逆の手順でプロテクターを挿入します。



【プロテクションのホモロゲーション証明書】

AIR TURQUOISE SA | PARA-TEST.COM
Route du Pré-au-Conté B • CH-1804 Villeneuve • +41 (0)21 965 65 65
Test laboratory for paragliders, paraglider harnesses
and paraglider reserve parachutes



Miscellaneous Impact Pad Report

Inspection certificate number: MISC_247.2023

Manufacturer data:		Sample data:	
Manufacturer name:	Woody Valley srl	Name impact pad:	PRS
Representative:	Simone Caldana	Emergency parachute integrated:	No
Street:	Via Lina 23	Impact pad type:	Polyethylene
Post code place:	38121 Trento	Weight of sample [kg]:	0.19
Country:	Italy	Serial number:	113 0115 001P
Harness model:	Not related to specific model	Date of test:	23.02.2023

Atmosphere AGL:

Temp. [C°]	22
R.H. [%]	39
Press. [hPa]	1001

Summary of Impact pad test ⁽¹⁾

Test id	Test configuration ⁽²⁾	Max Peak of Impact [g] ⁽³⁾	Duration at 38 [g] in [ms] ⁽⁴⁾	Duration at 20 [g] in [ms] ⁽⁵⁾	Diff. of test 1 and 2 [%]	Result
P	Test sample attached to dummy in flying position, without emergency parachute	35.71	0.00	18.33	n/a	POSITIVE
PR	Test sample attached to dummy in flying position, including emergency parachute	0.00	0.00	0.00	n/a	n/a

Issue data

Place of declaration: Villeneuve
Date of issue: 07.03.2023
Managing director: Andrea Wigger
Signature:

Manufacturer	Instrument	Type no	S/N	Validity Calibration
Burster/MTS	Accelerometer 100 g	86010-100	1263567	23.01.2024
JOC elec	Geos n°11 Skywatch	Geos n°11	UH011	18.06.2025

This signature approves the validity of the test report

Air Turquoise SA has thoroughly tested the sample of emergency parachute container mentioned above and certifies its conformity with the following standards:
EN 1661:2016+A1:2020⁽⁶⁾

⁽¹⁾ Calculated value in tests reports include the value minus the uncertainty (on safe side). The uncertainty stated is the expanded uncertainty obtained by multiplying the standard uncertainty by the coverage factor k = 2. The value of the measured lies within the assigned range of values with a probability of 95%.

⁽²⁾ The dummy is lifted minimum up to 1.65 m, and impact pad is mounted on. Where the impact occurs, measure distance from bottom of impact pad to ground.

⁽³⁾ Maximum peak of impact should be less or equal to 50 [g]. ⁽⁴⁾ If any, the maximum duration in at 38 [g] should be less or equal to 7 [ms]. ⁽⁵⁾ If any, the maximum duration in at 20 [g] should be less or equal to 25 [ms].

⁽⁶⁾ This standard is NOT covered by accreditation D-05-19457-01

The declaration must not be reproduced in part without the written permission of Air Turquoise SA.

Rev 07 / 04.03.2022

Page 1 of 2

ISO 95.14

AIR TURQUOISE SA | PARA-TEST.COM
Route du Pré-au-Conté B • CH-1804 Villeneuve • +41 (0)21 965 65 65
Test laboratory for paragliders, paraglider harnesses
and paraglider reserve parachutes

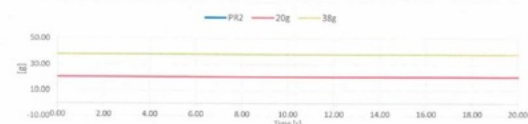
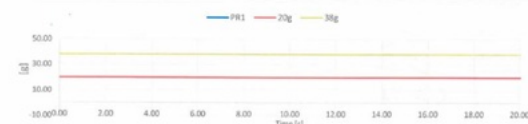
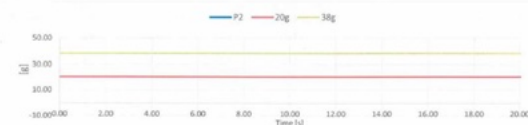
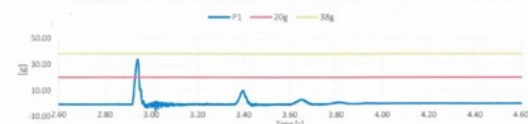


Inspection certificate number: MISC_247.2023

Name impact pad: PRS

Test results of Impact pad test

	without emergency parachute		including emergency parachute	
	P1	P2	PR1	PR2
Maximum Peak of impact [g]	35.71	0.00	0.00	0.00
Impact duration at +38 [g] in [ms]	0.00	0.00	0.00	0.00
Impact duration at +20 [g] in [ms]	18.33	0.00	0.00	0.00
Uncertainty k=2[g]	2.05	0.00	0.00	0.00
Diff. between test 1 and 2 [%]	100.00	0.00	100.00	0.00



Rev 07 / 04.03.2022

Page 2 of 2

ISO 95.14

AIR TURQUOISE SA | PARA-TEST.COM
Route du Pré-au-Conté B • CH-1804 Villeneuve • +41 (0)21 965 65 65
Test laboratory for paragliders, paraglider harnesses
and paraglider reserve parachutes



Miscellaneous Impact Pad Report

Inspection certificate number: MISC_273.2023

Manufacturer data:		Sample data:	
Manufacturer name:	Woody Valley srl	Name impact pad:	IPE
Representative:	Simone Caldana	Emergency parachute integrated:	No
Street:	Via Lina 23	Impact pad type:	Inflatable
Post code place:	38121 Trento	Weight of sample [kg]:	0.20
Country:	Italy	Serial number:	001
Harness model:	Not related to specific model	Date of test:	12.12.2023

Atmosphere AGL:

Temp. [C°]	20
R.H. [%]	47
Press. [hPa]	1000

Summary of Impact pad test ⁽¹⁾

Test id	Test configuration ⁽²⁾	Max Peak of Impact [g] ⁽³⁾	Duration at 38 [g] in [ms] ⁽⁴⁾	Duration at 20 [g] in [ms] ⁽⁵⁾	Diff. of test 1 and 2 [%]	Result
P	Test sample attached to dummy in flying position, without emergency parachute	36.73	0.00	25.00	0.26	POSITIVE
PR	Test sample attached to dummy in flying position, including emergency parachute	0.00	0.00	0.00	n/a	n/a

Issue data

Place of declaration: Villeneuve
Date of issue: 14.12.2023
Managing director: Andrea Wigger
Signature:

Manufacturer	Instrument	Type no	S/N	Validity Calibration
Burster/MTS	Accelerometer 100 g	86010-100	1263567	23.01.2024
JOC elec	Geos n°11 Skywatch	Geos n°11	UH011	18.06.2025

This signature approves the validity of the test report

Air Turquoise SA has thoroughly tested the sample of emergency parachute container mentioned above and certifies its conformity with the following standards:
EN 1661:2016+A1:2020⁽⁶⁾, NF Z465-30

⁽¹⁾ Calculated value in tests reports include the value minus the uncertainty (on safe side). The uncertainty stated is the expanded uncertainty obtained by multiplying the standard uncertainty by the coverage factor k = 2. The value of the measured lies within the assigned range of values with a probability of 95%.

⁽²⁾ The dummy is lifted minimum up to 1.65 m, and impact pad is mounted on. Where the impact occurs, measure distance from bottom of impact pad to ground.

⁽³⁾ Maximum peak of impact should be less or equal to 50 [g]. ⁽⁴⁾ If any, the maximum duration in at 38 [g] should be less or equal to 7 [ms]. ⁽⁵⁾ If any, the maximum duration in at 20 [g] should be less or equal to 25 [ms]. ⁽⁶⁾ The test should be done twice, and the 2nd test the maximum peak should not differ more than 20% from the first test, maximum peak.

⁽⁷⁾ This standard is NOT covered by accreditation D-05-19457-01

The declaration must not be reproduced in part without the written permission of Air Turquoise SA.

AIR TURQUOISE SA | PARA-TEST.COM
Route du Pré-au-Conté B • CH-1804 Villeneuve • +41 (0)21 965 65 65
Test laboratory for paragliders, paraglider harnesses
and paraglider reserve parachutes



Inspection certificate number: MISC_273.2023

Name impact pad: IPE

Test results of Impact pad test

	without emergency parachute		including emergency parachute	
	P1	P2	PR1	PR2
Maximum Peak of impact [g]	36.64	36.73	0.00	0.00
Impact duration at +38 [g] in [ms]	0.00	0.00	0.00	0.00
Impact duration at +20 [g] in [ms]	25.00	25.00	0.00	0.00
Uncertainty k=2[g]	1.54	1.54	0.00	0.00
Diff. between test 1 and 2 [%]	100.00	100.26	100.00	0.00



1. 3 セーフティーロックシステム

パイロットがクローズドハーネスのチェストストラップとレッグストラップの両方を締め忘れることによる事故に対処するため、WoodyValley社は新しいレッグカバークロージングシステムを開発しました。このシステムでは、パイロットがレッグストラップをつかみ、確実に固定する必要があります。このシステムは、レッグストラップの非締結に代わるものではありません。



1. 4 RECCOシステム

RACEハーネスは左エポレットにRECCOリフレクターを装備しています。これは遭難者を検索するための装置です。RECCOシステムのおかげで、広範囲を素早く検索することができ、検索時間を大幅に短縮することができます。

このシステムは、捜索中に探知機からレーダー信号を送信することで作動します。この信号は受信され、パッシブ・トランスポンダ・リフレクターによって探知機に返されます。探知機はこれを音響信号に変換し、救助隊を誘導します。

詳しくは、「<https://recco.com/>」をご確認ください。

1. 5 軽量素材についての注意

RACEハーネスのような軽量製品は、その軽量素材が不適切な使用による損傷を受けやすいため、特別な取り扱いと細心の注意が必要となります。

この製品の寿命は、いかに慎重に使用するかによって大きく左右されます。軽い製品は、あらゆる種類の機械的ストレスに対してより敏感です。

アクロバティックな操作や過激な操作(SIVを含む)を行わないことをお勧めします。

緊急パラシュートを開く際の衝撃のような強いストレスは、安全性を損なうことなくハーネスに損傷を与える可能性があります。そのような損傷は保証の対象外となります。



2- ハーネス使用の前に

RACEハーネスは、バックプロテクションをメーカーで装着した状態で出荷されます。緊急パラシュートの装着は、認定インストラクターなどの然るべきプロの手によって十分な注意のもとに実施されなければなりません。それが完了するまでは、パイロットに合わせたハーネス調整は行なわないでください。

2.1 緊急パラシュート

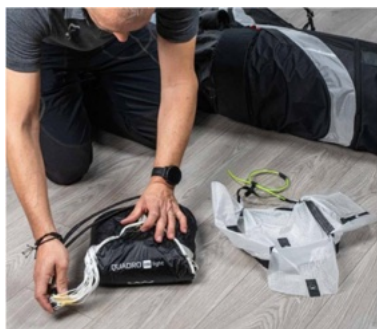
RACEには、緊急パラシュート格納容コンテナが右側のシートの下、バックプロテクションのすぐ後ろにあります。緊急パラシュート格納容コンテナは、最新世代の軽量リザーブパラシュートに適した最大容量5.6リットルのMサイズ(WoodyValley社製品であるQUADRO Light 140のような)用に設計されています。緊急パラシュートの展開間隔を守り、関連書類(パッキング記録書等)に定期的に記入することをお勧めします。緊急パラシュートは、ハーネスに装着してから内蔵コンテナに収納します。内蔵コンテナに入れる前に必ずハーネスに取り付けてください。RACEは外部リザーブパラシュート用コンテナとの併用には適していません。

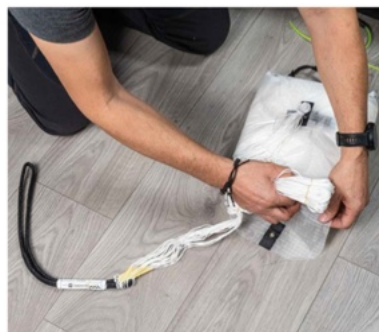
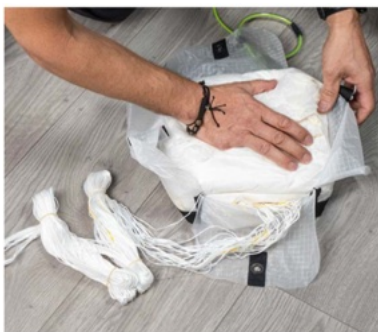


2.1.1 ハンドル付きデプロイメントバッグ

RACEハーネスにはレスキューハンドルが付属したデプロイメントバッグが付属しています。この目的に適合した他のデプロイメントバッグやレスキューハンドルは使用しないでください。デプロイメントバッグの寸法に合わせて緊急パラシュートを折りたたみ収納してください。緊急パラシュートのラインは、デプロイメントバッグに付属したハンドルの反対側に折り畳みます。そしてデプロイメントバッグのフラップを閉じてください。

注意として、ハーネスへの緊急パラシュートの畳み作業は知識ある方が行ってください。





重要:

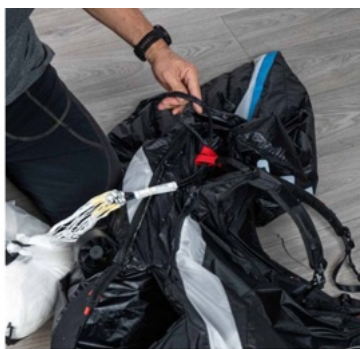
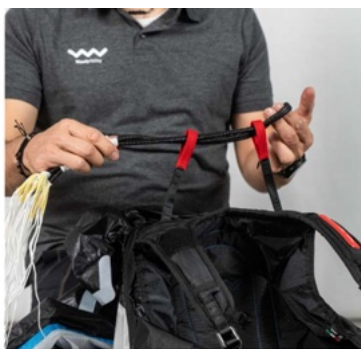
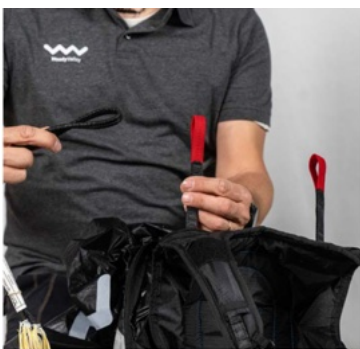
ハンドルとコンテナ間のブライドルラインの長さが、リザーブパラシュートのラインと干渉しないことを確認してください。



2. 1. 2 緊急パラシュートのハーネスへの取り付け

緊急パラシュートをハーネスに接続するには、緊急パラシュートのループを両方のショルダーストラップ上のループに直接通す必要があります。

次に、緊急パラシュートのブライダル（bridle）の大きなループにリザーブパラシュートを通します。この結果、緊急時の開傘時の危険な摩擦を避けるため、接続部はできるだけきつく締めなければなりません。





緊急パラシュートにデュアルブライダルが付いている場合、ショルダーストラップにある2つのループを使ってハーネスに接続することができます。

この2つの接続には、破断荷重 1400Kg以上のスクリーカラビナを使用しなければなりません。いずれの場合も、ブライダルの長さが、ハーネスポケットの内蔵コンテナ内に緊急パラシュートを配置するのに十分な長さで、取り出した時の使用者の腕・手のリーチの長さが保たれていることを確認してください。



重要:

緊急パラシュートブライダルポケットに物を入れないでください。



異常な横荷重を避けるため、緊急パラシュートブライダルはそれぞれのショルダーストラップ上にある両方のアイレットに取り付けなければなりません。片方だけではだめです。

2. 1. 3 緊急パラシュートの装填

アイレットと緊急パラシュートの間をラインが自由に通るように、ジッパーをフラップから開きます。

上記で説明したシステムで緊急パラシュートとハーネスを接続した後、パラシュートとそのライン束をレスキューコンテナに挿入します。開口しやすくするため、ライザーバンドルをハーネスの下側に置くように注意してください。緊急レスキューハンドルの接続部の三角形が外側になるように、次の写真のようにデプロイメントバッグを挿入するよう十分注意してください。ブライダルのスライダーをストロークの終わりまで動かし、黄色のレスキューハンドルピンをまず赤のスロットで閉じ、次に次のスロットで閉じます。ジッパーを徐々にパイロットの首の後ろまで閉め、不用意に開かないように注意します。

レスキューコンテナを閉じた後、レスキューハンドルを所定の位置に置きます。ハーネスとレスキューハンドルに付いているマグネットが正しい位置決め役に立ちます。操作の最後に、オープニングシステムの2つのヒンジが完全に閉じていることを確認します。





重要:

初めて装着する緊急パラシュートとハーネスの新しい組み合わせは、フライトインストラクターでなくても、ハーネスまたは緊急用パラシュートの正規販売店によって、効果的な取り出しが可能かどうかチェックされなければなりません。緊急パラシュートの取り出しは、通常のフライトポジションから完全に可能でなければなりません。

パラグライダー用ハーネスと緊急パラシュート開傘システムは、フリーフォールや強い衝撃には適していませんのでご注意ください。

そのベアリング構造は、パラグライダーフライトに要求される基準に従い、リザーブパラシュートの開傘衝撃に耐えるよう設計、テスト、承認されています。

ただし、リザーブパラシュートの開傘衝撃により、ハーネスの他の部分がダメージを受けないとは限りません。これは、実際の事故の際に必要なと迫られて起こるものであろうと、安全講習の際など自発的に起こるものであろうと同じです。

2. 1. 4 緊急パラシュートの収納ポケット

リザーブパラシュートの容量は、Mサイズで計算し、5.6リットルを超えてはならない。



2. 1. 5 緊急パラシュートの開傘操作

緊急時に直感的と即座に反応できるよう、通常飛行中も定期的に緊急パラシュートハンドルの位置を調べておくことが重要です。

飛行中、緊急事態が発生した場合の発射手順は以下の通りです：

- 取り出しハンドルを探し、ハンドルを見て、片手でしっかりと掴む。
- ハンドルを引き抜き、ハーネスポケットから緊急パラシュートを取り出す。
- 障害物のない空間を確認し、連続した動きで緊急パラシュートをパイロットおよびパラグライダーから離れた方向へ投げる。
- 開傘後、パラグライダーがリザーブパラシュートに干渉しないようにする：
- リーディングエッジが上を向いている場合は、ライザー “D” または、ブレイクコードを引き込みパラグライダーをたたみます；
- 一方、リーディングエッジが下を向いている場合は、ライザーかブレイクコードを引き、リーディングエッジを上にしてグライダーを回転させる。その後、両方のブレイクコードまたはライザーを引くと、より簡単にパラグライダーをたたむことができます。

ランディングの際は、体を直立させ、怪我のリスクを減らすために“パラシュート・ランディング・テクニク”(PLF(5点接地パラシュートランディングフォール))を使ってください。

パラシュートを展開した後は、必ず有資格者がハーネスを点検してください。





2.2 ハーネス調整

RACEハーネスは、チェストストラップの幅とショルダーストラップの高さを機内で調整できます。さらに地上では、パイロットはハイバックストラップ、ローバックストラップ、レッグカバーの長さを調節することができます。最適なポジションを見つけるには時間がかかるかもしれないが、その労力を補って余りある快適なフライトを実現することができます。

このハーネスは人間工学に基づき設計されており、ほとんどのパイロットに快適さを提供します。



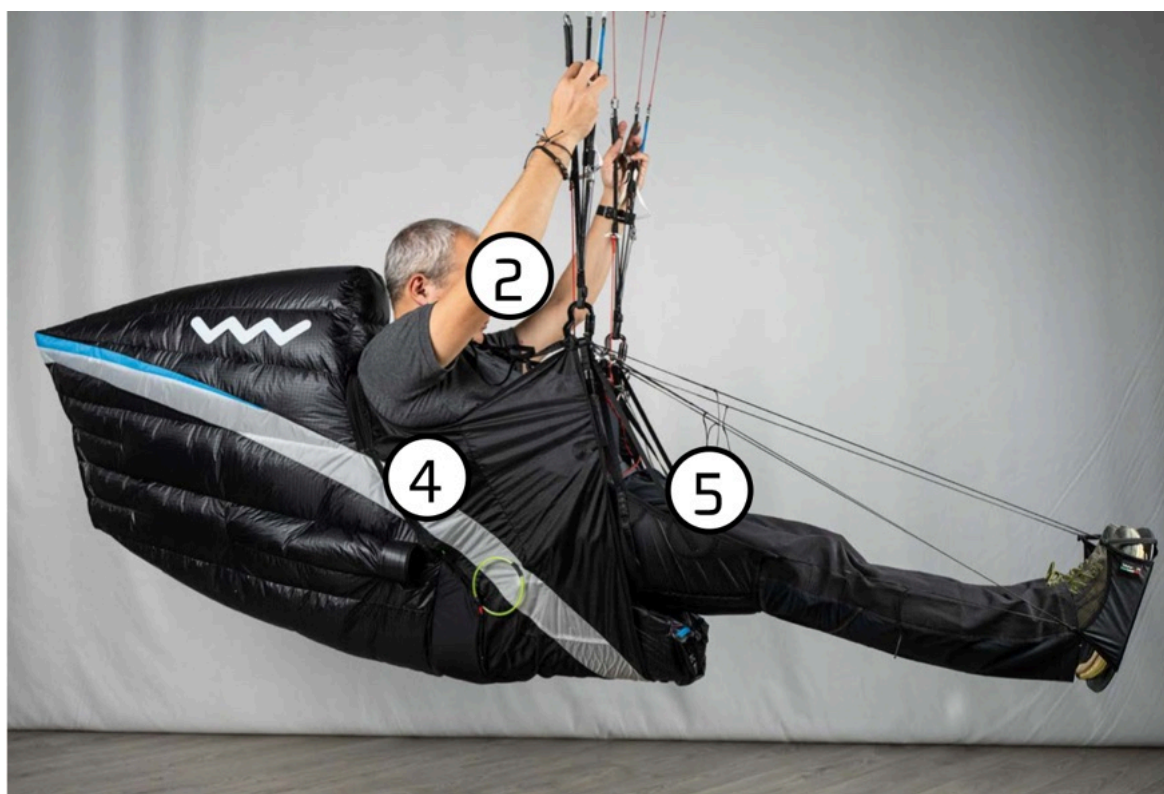
背もたれの高さが快適さの決め手とならない座位用ハーネスとは対照的に、リクライニングハーネスでは、背もたれの高さが快適さと正しい飛行姿勢の決め手となります。したがって、シート幅を気にすることなく、特にシートバックの高さに関して適切なサイズを選ぶことが重要です。最適なポジションを見つけるためには、ハーネスにぶら下がり、フライトの姿勢や状況をシミュレーションすることをお勧めします。そのため、普段フライトに持ち込む荷物はすべて背面ポケットに入れることをお勧めします。

重要:

- 調整を行う前に、リザーブパラシュートを挿入してください。
- 各調整は左右対称に行うこと。- 各調整ストラップは必ず締めてください。

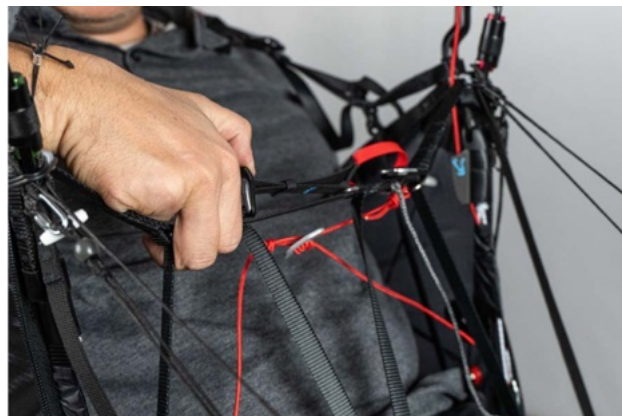


- 1. チェストストラップ調整.....2.2.1
- 2. 肩ストラップ調整.....2.2.2
- 3. シート調整.....2.2.3
- 4. バックポジションの調整.....2.2.3
- 5. レッグカバーの調整.....2.2.4



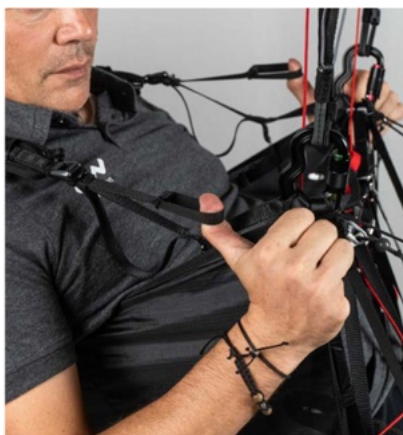
2. 2. 1 チェストストラップの調整

チェストストラップは2つのカラビナ間の距離を調整するもので、Mサイズの開口部は36～45cmの範囲にあります。最初のフライトでは、チェストストラップを赤い印の位置まで調節し、フライト中に少しずつ調節しながら適切なサイズを見つけることをお勧めします。チェストストラップをきつめにすると安定感が増します。過度の開閉はグライダーの性能を向上させませんし、過度の開閉は“ねじれ”の可能性を強調することになります。



2. 2. 2 肩ストラップの調整

肩ストラップの調節はパイロットの身長差を補正し、調節バックルは肩ストラップの頂点に位置しています。肩ストラップはまた、快適性を向上させるために胴体の重量の一部を支えます。肩ストラップは、緩すぎず、きつすぎず、肩にフィットするように調節してください。



2. 2. 3 シートとバックポジションの調整

以下の写真では、“サイド” アジャストがどのように配置されているかがわかる。この2点が背中上部から腰部にかけてパイロットをサポートします。

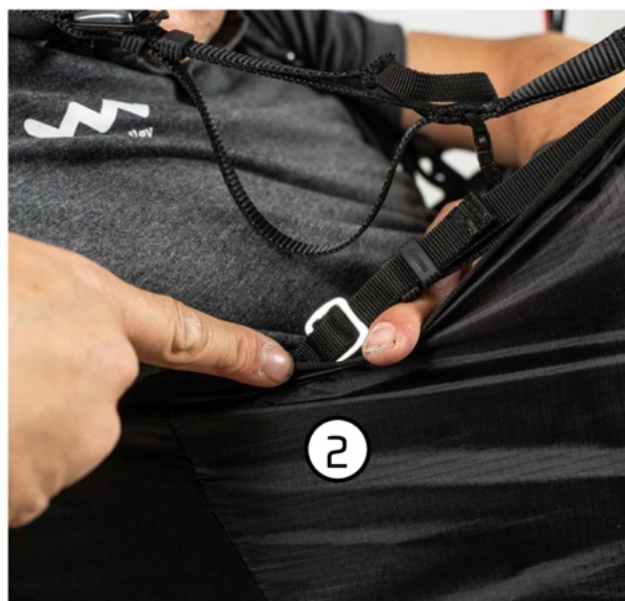
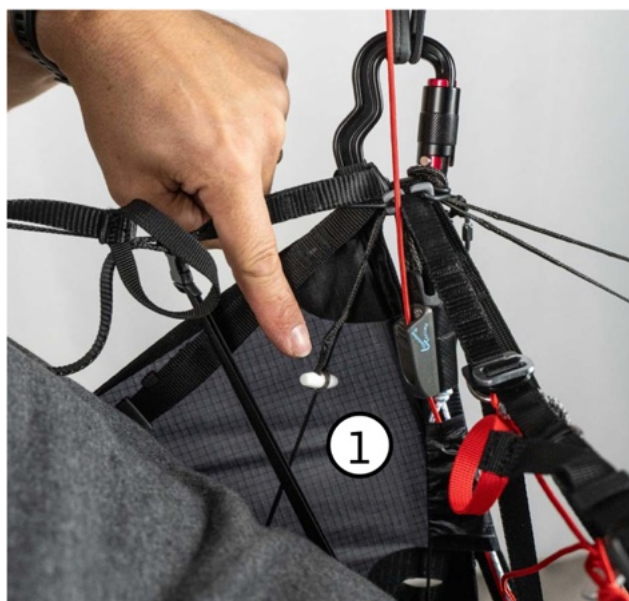
パイロットをサポートするだけでなく、これらの調整によりハーネスはどんなタイプの背中にも適応し、最高の快適性を提供します。

具体的には、調整 No.1 は脚と背中との間の角度(シートの深さ)を変え、シートとランバーストラップの間に荷重を分散させることで、パイロットに大きな快適性を提供します。

この調整を行うには、結び目と白いトグルを動かします。

フライトの垂直軸に対する胴体の傾きを選択するための主な調節は、No.2 の背もたれの調節です。

調整を変更するには、最初のストラップを緩め、次に最も快適なポイントに調整します。この手順が完了したら、カバーストラップをもう一度締め、調整設定をロックします。



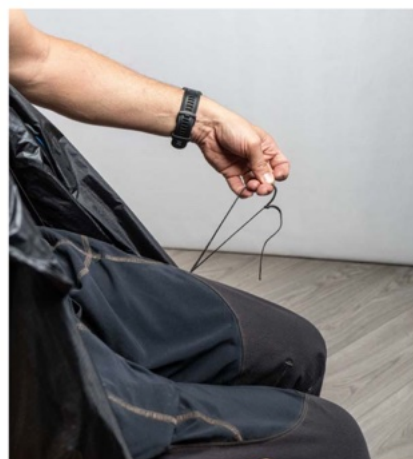
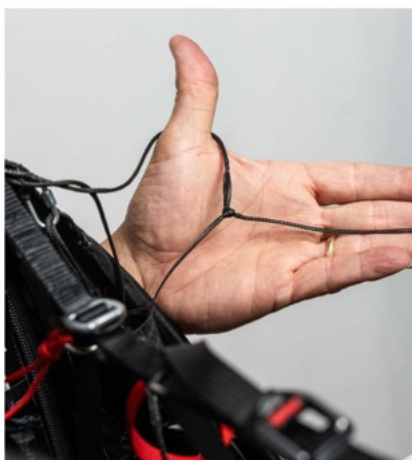
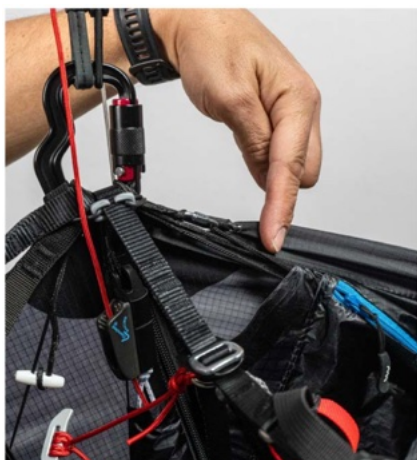
2. 2. 4 レッグカバーの調整

レッグカバーの長さは、3本の調整ラインを必要に応じて長くしたり短くしたりすることで調整できます。

シートの前部から始まったラインはフットレストの下部に達し、カラビナから出たもう1本のラインはここに達し、同じくカラビナから出た3本目のラインはフットレストの上部に達します。



長さを変えるには、結び目からダブルループを緩め、希望の位置で新しい結び目を作り、新しい結び目でダブルループの位置を変更します。



ハーネスの左右で対称に操作することをお勧めします。通常、快適性を確保するため、ヒールラインとフットレスト上部のテンションは同じにしてください。

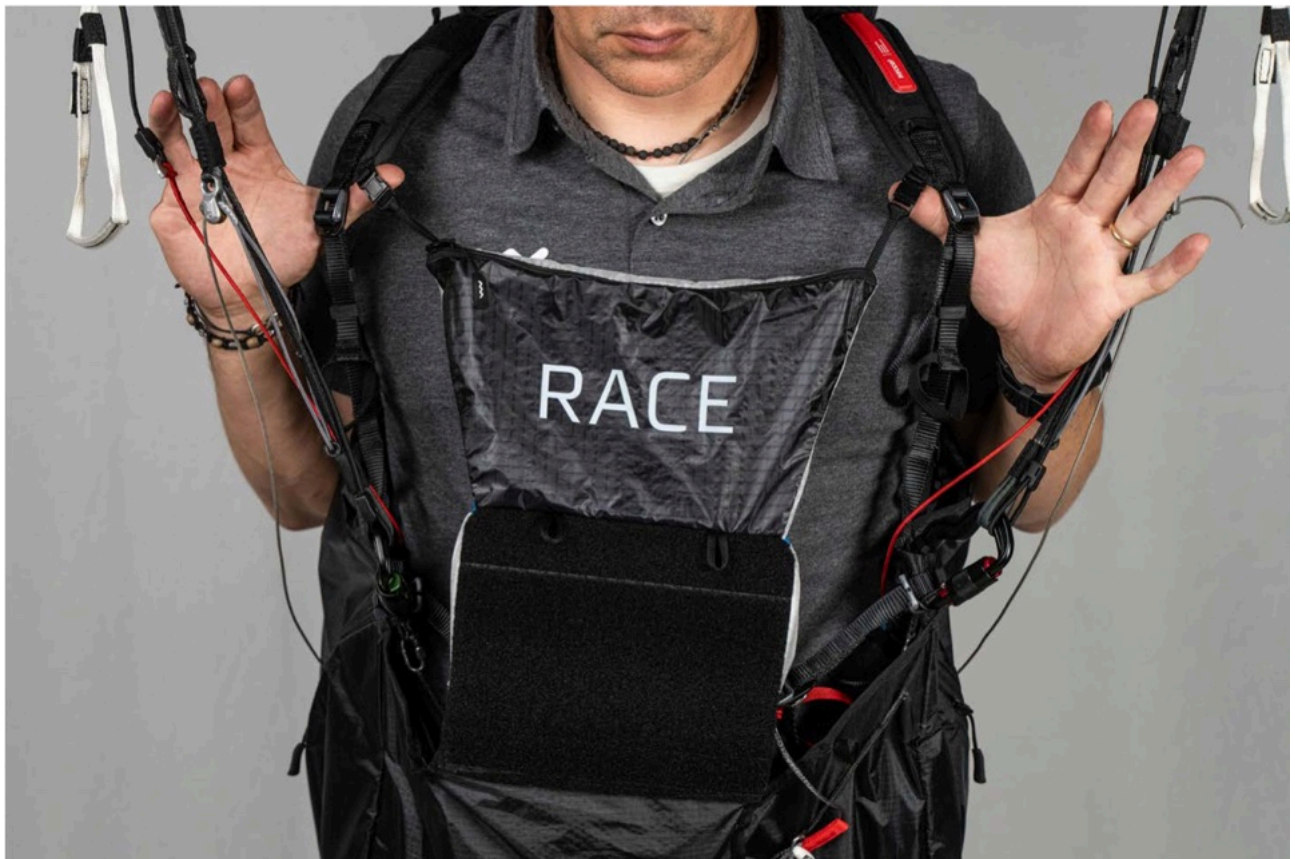
3- RACE でのフライト

3.1 プレフライトチェック

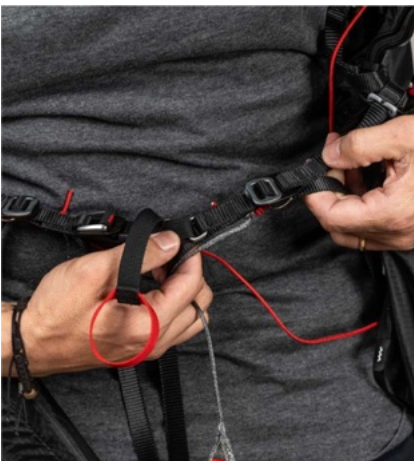
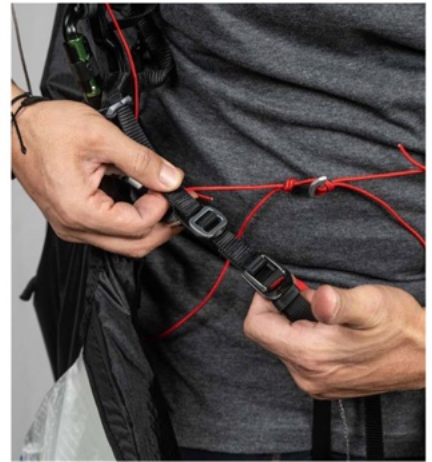
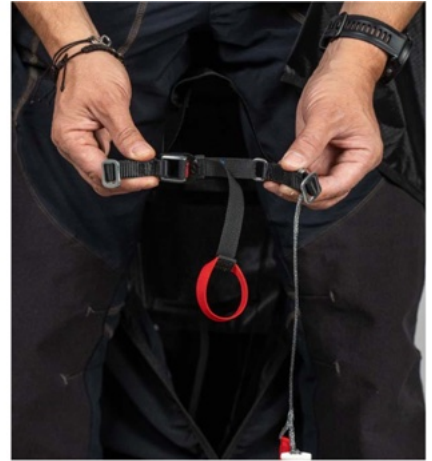
最大限の安全性を確保するためには、信頼できる包括的な飛行前チェック手順を活用し、各フライトの前に一貫して同じメンタルシーケンスを繰り返すこと。

チェック項目

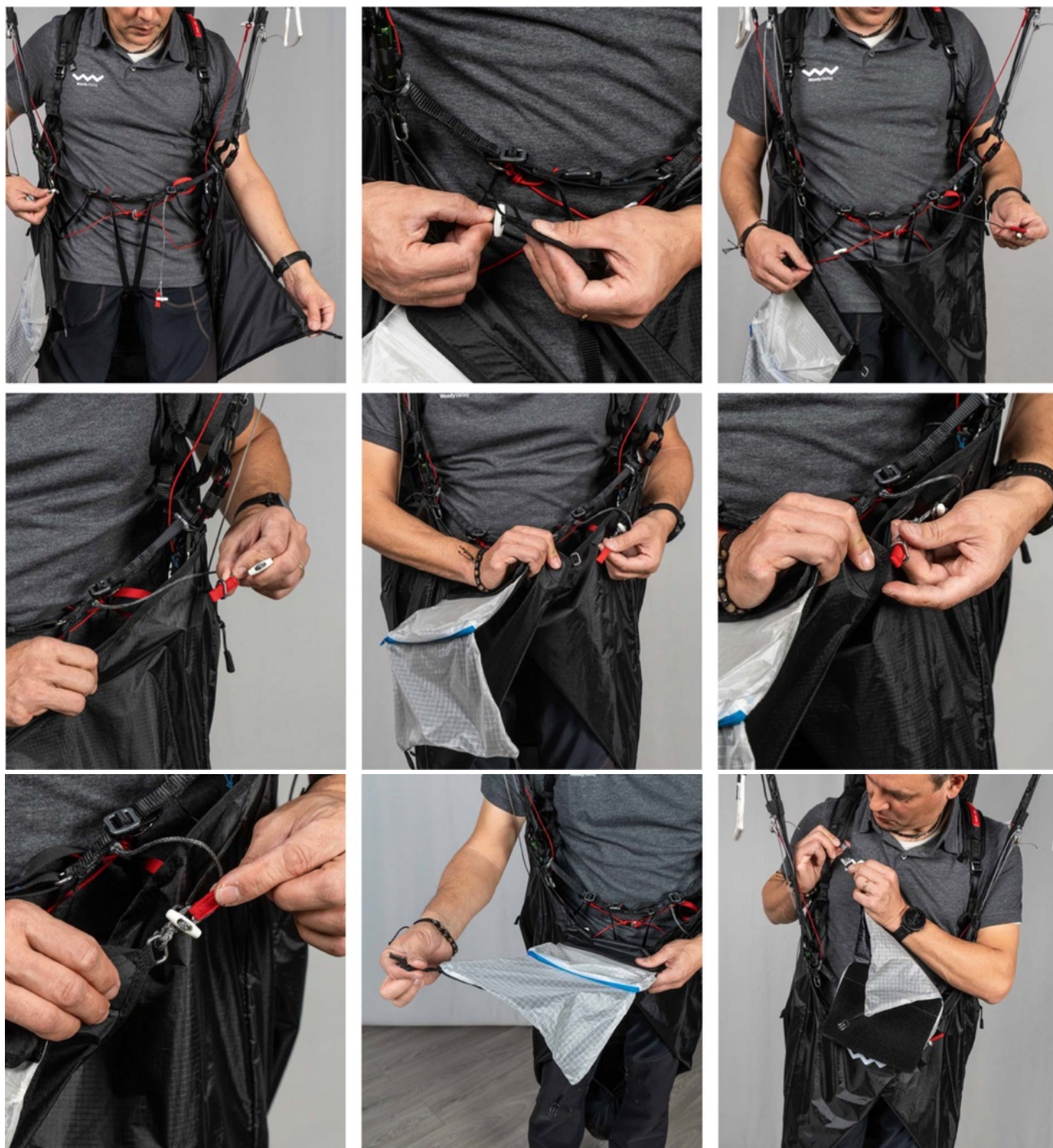
- リザーブパラシュートのハンドルが正しく固定されているか。
- ポケットやジッパーが閉じているか。
- すべてのバックルがきちんと閉まっているか。
- パラグライダーがハーネスに正しく取り付けられ、両方のカラビナがロックされて、しっかりと固定されているか。
- スピードバーとスタビライザーがグライダーに正しく取り付けられているか。 - ベルクロでコックピットがレッグカバーに取り付けられているか。



天候がフライトに適していることを慎重に確認した後、肩ストラップに腕を通し、ハーネスを装着します。次にレッグストラップをチェストストラップに取り付け、以下の写真のようにバックルをチェストストラップの黒いコネクターを通して「ゲットアップ」システムを固定します。



右側の白い小さなトグルを左側のレッグカバーの黒いループに通してレッグカバーを閉じます。
レッグストラップについているグレーのラインの端にある赤いストラップを、まず左のカラビナ付近にある長方形のリングに通し、最後に右のレッグカバーのロゴ付近にある長方形の金属リングに通して「セーフティロックシステム」を固定します。白い小さなトグルをグレーのコードのループに差し込み、すべてを固定します。



ハーネスを装着したら、ショルダーストラップの2つのバックルでコックピットを固定する。
安全なフライトのために、この手順は細心の注意を払って行われ、モニターされなければなりません。



レッグカバーに脚を入れやすくするため、レッグカバーの底にはプラスチックボールの付いたゴムが取り付けられています。このゴムは、上記の写真に描かれているように、テイクオフの前に右足の靴紐に結ばれています。必ず左足から入り、次に右足から入るように動作してください。

3. 2 ポケット

3. 2. 1 リアポケット

フライト仕様のRACEハーネスには、ハーネス後部のジッパーを全開にするとアクセスできる広々としたバックポケットがあります。このポケットは、リュックサック、衣類、キャメルバック、寝袋などを収納できるように設計されています。内側、パイロットの背中側には伸縮性のあるエッジが付いたポケットもあります。

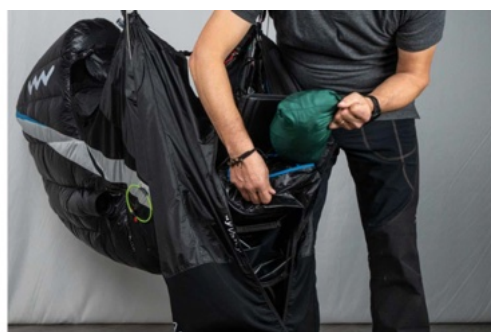


重要:

- バックポケットに物を入れ過ぎると、ハーネスステールの適切な膨張が損なわれる場合があります。
- レスキューコンテナの形状が歪まないよう、バックポケット内のすべてのアイテムが均等に配置されていることを確認してください。
- ポケットのジッパーは必ず完全に閉めてください。

3. 2. 2 サイドポケット

RACEハーネスには、グローブなどを収納するためのジッパー付きサイドポケットが外側に2つ付いています。レッグカバーの内側には、サイドに2つ、プロテクションの前、シートのすぐ下に1つの合計3つのポケットがあります。



3. 2. 3 セーフティーナイフポケット

レッグカバーの右カラビナとコックピットの位置決め用ベルクロの近くに、セーフティーナイフを入れる小さなポケットがあります。このアクセサリはオプションです。



3. 2. 4 メッシュポケット

パイロットのフライト中のあらゆるニーズに応えるため、伸縮性のあるメッシュポケットを2つデザインしました。スナック、エナジーバー、ソフトボトル、無線機などを入れることができます。



3.3 ウォーターバッグ

RACEハーネスは、キャメルバックを収納できるように設計されています。背面ポケットに入れ、チューブをポケットのジッパーから出し、左肩ストラップのゴムに差し込むだけで取り付けられます。



3.4 コックピットの使用

コックピットには携帯電話やフライト計器を収納する十分なスペースがあり、充電器／パワーバッテリー用のポケットが2つ付いています。レッグカバーのベルクロとハーネスストラップの2つの小さなプラスチックバックルで固定します。



3.5 尿排出チューブの使用

尿排出チューブを通す穴はハーネスの左側にあります。チューブは付属されていません。



3.6 タンデムフライトの使用

RACEハーネスは、パイロットもパッセンジャーも2人乗りハーネスとして使用することはできません。

3.7 水上でのフライト

RACEハーネスは、水上での飛行に特に禁止はありませんが、着水はやはり危険です。複雑なロックシステムのため、入水前後にハーネスを開くことはできません。WoodyValley社では、水上飛行の際には適切なライフジャケットの使用を推奨しています。

3.8 トーイングフック

RACEハーネスは、トーイングでのテイクオフに適しています。牽引ブライダルリリースはメインカラビナに直接フックし、カラビナが開口ゲートを後方に向けて配置されていることを確認してください。詳細については、トーイングリリースに付属している説明書を参照するか、トーイング飛行場で資格を持ったトーイングインストラクターに相談してください。

3.9 RACEハーネスでのランディング

ランディングする際は、フロントカバーから脚を離し、直立した姿勢で着地してください。座ったままの姿勢での着地は、バックプロテクションを装着していたとしても、腰にとって非常に危険です。着地前に立ち上がることは、能動的な安全事前注意であり、受動的な保護手段よりもはるかに効果的です。

3. 10 ハーネスの廃棄

パラグライダーで使用した資材は適切に廃棄してください。

廃棄できなければ購入したショップまたはスクールへ相談するか、または輸入元スポーツオーパカイトへご連絡ください。その後、ハーネスを適切に処分いたします。

3. 11 自然環境における活動への注意

パラグライダーでのフライトや練習中は、私たちを取り巻く自然や風景を尊重してください。標識のある登山道から離れたり、ゴミを散らかしたり、大きな音を立てたりせず、山に存在する微妙なバランスを尊重してください。

3. 12 グライダーを正しく取り付ける

グライダーをハーネスに取り付けるには、カラビナレバーを約90° 回して開きます。カラビナはセルフロック式で、レバーを離すと自動的に閉じます。グライダーライザーをカラビナに正しく取り付け、確実に閉じていることを確認してください。



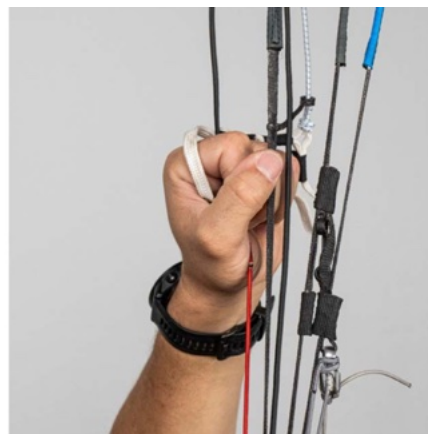
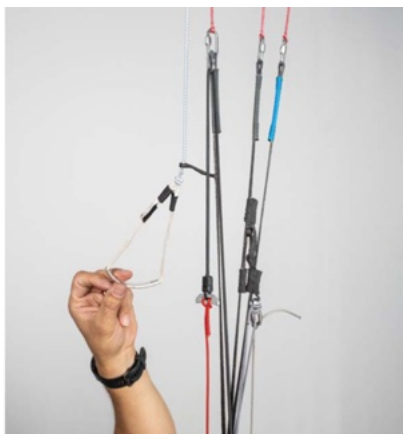
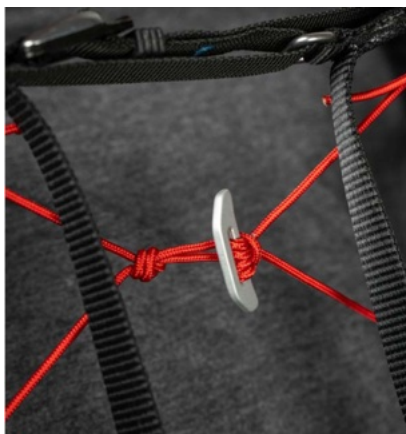
4ー スタビライザー

RACEハーネスには、ハーネスの感度を高めることでフライト中のハーネスを安定させる革新的なシステムがあります。

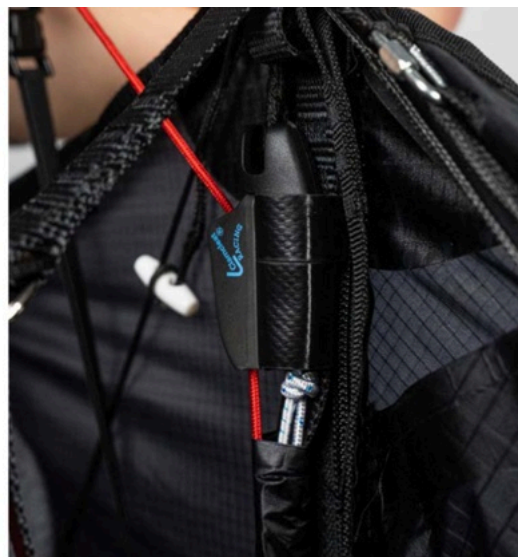
このシステムはストラップのジオメトリーを変更し、グライダーの両ライザーに直接接続されます。

スタビライザーを作動させるには、翼のライザー近くにある赤い線上にある2つのノブを引き上げるだけです。

ノブを操作する際の力を最小限にするため、荷重を少し下げることをお勧めします。



初期状態に戻すには、同じハンドルまたはラインをパイロットの肩側に引くだけで、ラインはクリートから解放され、ハーネスは再びスムーズで扱いやすくなります。

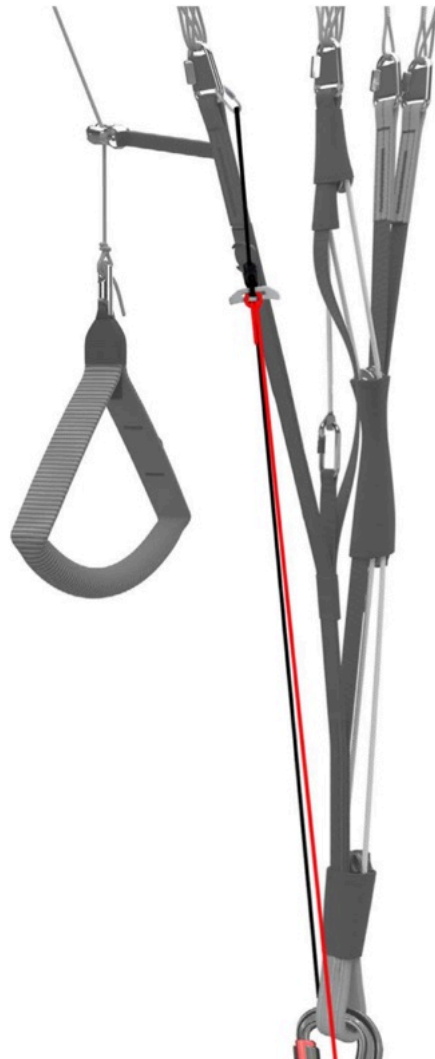
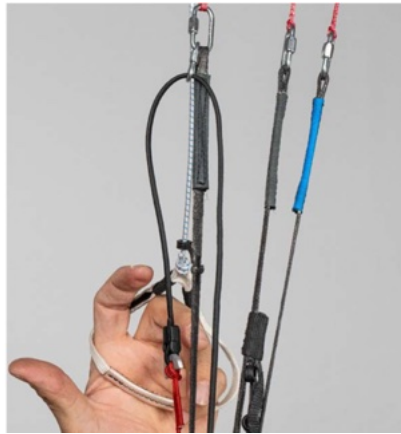
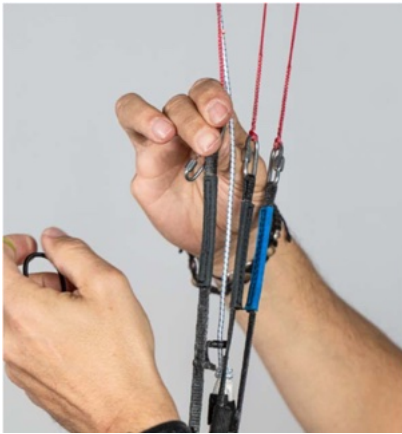


4. 1 スタビライザーとの接続

スタビライザーとグライダーライザーとの接続は、正しく機能させるための重要なステップです。

まず、下の写真にあるように、マイヨンラピードをライザーの最終ライン(Bsの2ラインセイルの場合、Csの3ラインセイルの場合)に挿入します。次に、マイヨンラピードの黒いゴムをライザーの内側に向けて挿入し、ゴムバンドの端にあるループをライザーの後ろにあるメインカラビナに引っ掛けます。

下図をご覧ください。



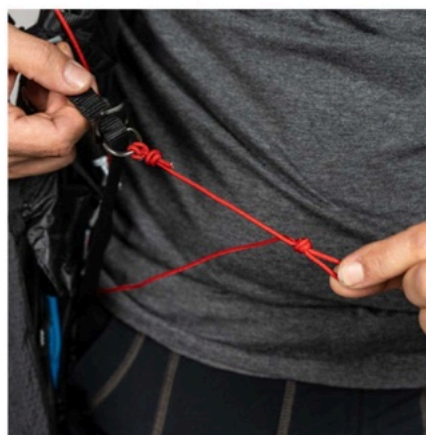
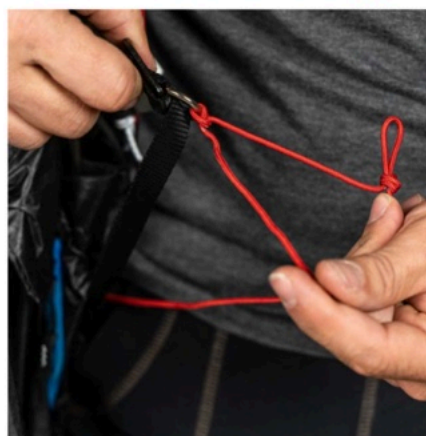
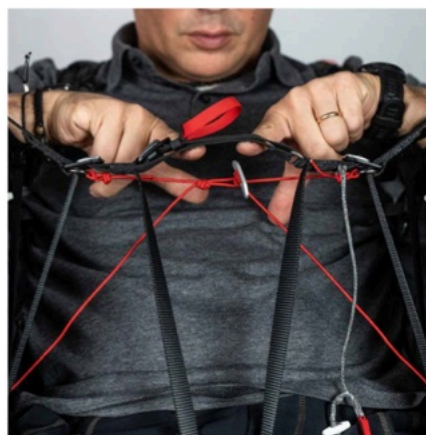
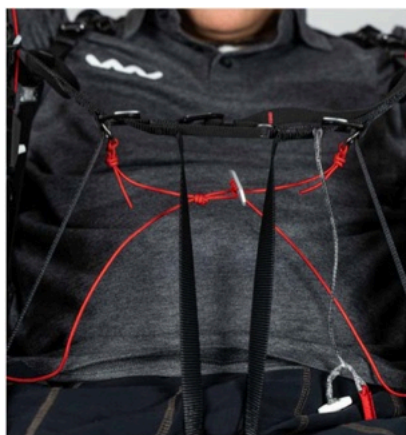
4.2 スタビライザーとチェストストラップの調整

スタビライザーはチェストストラップと連動しているため、まずチェストストラップの長さを決めてから、Dリングの結び目を使ってスタビライザーの留め具を調整することをお勧めします。

最適な調節のためには、スタビライザーはやや緩めにして、チェストストラップが独立して動くようにし、スタビライザーを操作したときだけハーネスがロックされるようにします。最初の基準として、スタビライザーが最低4cm緩むように調整し、その後必要に応じて調整することをお勧めします。

結び目を調整して赤いスタビライザーラインを過度に短くすると、チェストストラップが効かなくなり、操作していないときでもスタビライザーだけが機能するようになりますのでご注意ください。

左右対称に調整してください。



4.3 黒いゴム紐の調整

スタビライザーが接続されたら、2つのノブが対称で同じ高さであることを確認します。黒いゴムが緩すぎたりきつすぎたりしないか、もう一度確認してください。

ゴムの長さは各グライダーのライザーによって大きく変わります。

ゴムの長さを調節するには、プラスチック製のエンドストップを開き、エンドスロットをスライドさせます。



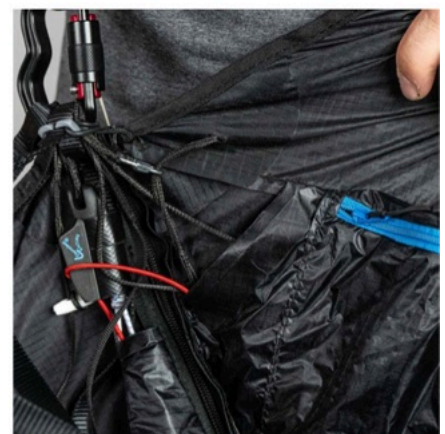
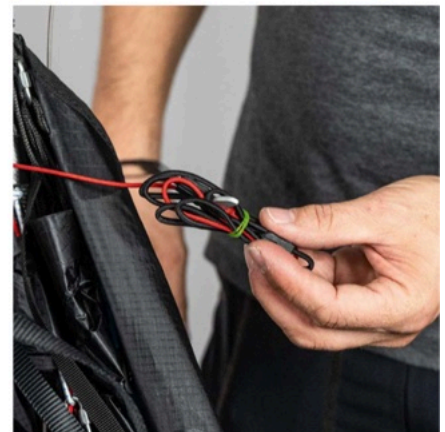
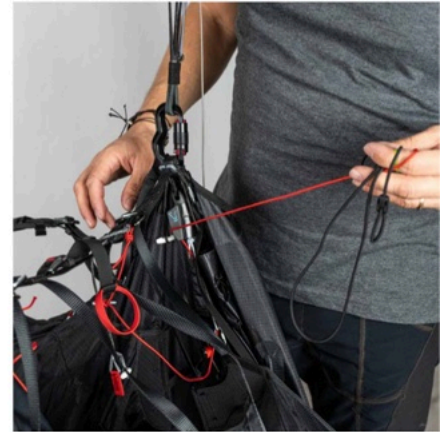
重要*

黒いゴムがきつすぎると、スタビライザーを引っ掛けるラインが引っ張られ、異常な翼の形になる可能性があります。



4. 4 スタビライザー未使用時の保管方法

スタビライザーを使用しない場合は分解せず、下の写真のようにポケットに収納することをお勧めします。スタビライザーを完全に分解した場合は、マニュアルのビデオに従って正しく組み立ててください。



5ー RACEハーネスの収納

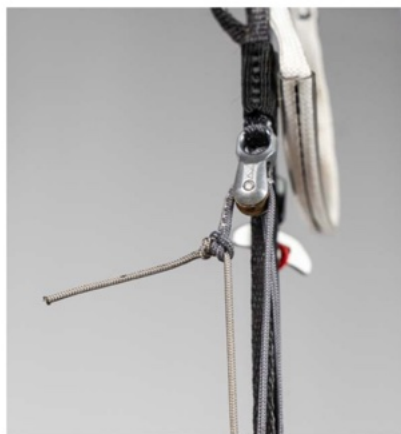
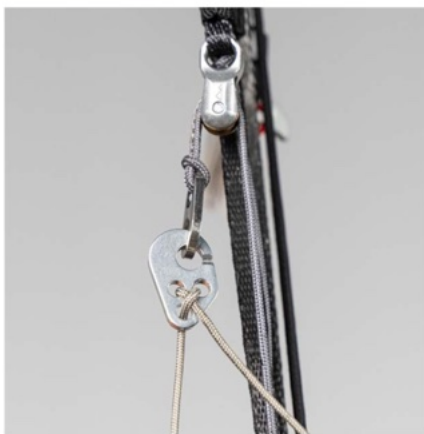
RACEハーネスは、パラグライダーをカラビナに取り付けた状態でも、別々でもリュックサックに収納することができます。ハーネスを適切に収納するには、以下の一連の作業をご参照ください。レッグカバーを折りたたみ、フットカバーを乗せ、パラグライダーをハーネスにかぶせ、リュックサックに入れます。



6- スピードシステムの調整

RACEハーネスには3段階のスピードバーが装備されています。スピードバーシステムの長さの調整は、最適なハーネスの調整が完了してから行ってください。ハーネスを適切に調整するには、シミュレーターを使用して行ってください。

スピードバーラインの長さを調節するには、アタッチメントフックの結び目を動かすか、金属フックを使わない場合はエンドフックを動かすだけです。ラインを短くし過ぎると、飛行中にスピードバーが常に引っ張られ、不注意でエンゲージしてしまうことがあります。より安全なテイクオフのためには、スピードバーを少し長めにし、その後のフライトでは徐々に短くしてください。左右対称に調整することを忘れないでください。ライクラ製アウターカバーの破損を避けるため、ペダル交換時には硬いスピードバーを使用しないことをお勧めします。ペダルラインはポーショニングリングに通し、ハーネス後部のコーナー付近にあるプーリーに通し、レッグカバーの穴を通してパラグライダーのコネクターに直接接続します。さらに、フットレストとペダルをつなぐゴムを簡単な結び目で取り付ける必要があります。これにより、スピードシステムは常に適切に伸長され、使用可能な状態に保たれます。



7ー メンテナンスおよび修理

衝撃を受けたり、ラフランディングやテイクオフをした後、あるいは損傷や過度の摩耗の兆候がある場合は、その都度ハーネスを点検してください。

また、メインカラビナは5年ごとに交換することをお勧めします。

ハーネスの早期劣化を防ぐため、ハーネスを地面や岩、研磨面などに引きずらないようにしてください。通常の飛行に必要な紫外線(太陽)へのさらなる露出は避けてください。可能な限り湿気や熱にさらさないでください。

全てのフライト用品は乾燥した涼しい場所に保管することをお勧めします。

ハーネスを清潔に保つため、定期的にプラスチック製のブラシや湿らせた布で汚れを落としてください。ハーネスが著しく汚れている場合は、中性石鹼と水で洗浄してください。

ハーネスは、日光の当たらない風通しの良い場所で自然乾燥させてください。

緊急パラシュートが濡れた場合(着水した場合など)、ハーネスから取り外し、乾燥させてからたたみ、所定の容器に収納してください。

ハーネスのパーツの修理や交換は、製造者または認定された者のみが、製品の機能性と認証への適合性を保証する素材と技術を用いて行うことができます。

クイックリリースとジッパーは常に清潔に保ち、シリコンスプレーで潤滑してください。メンテナンスのご依頼は、正規販売店またはWoodyValley社までご連絡ください。

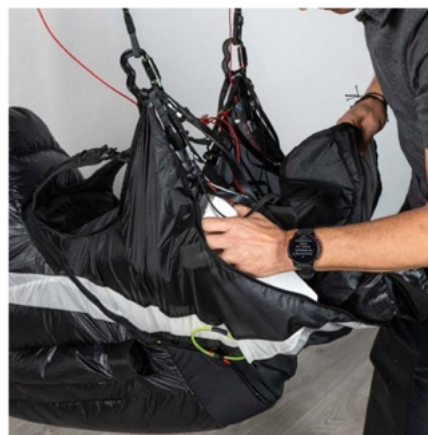
重要:

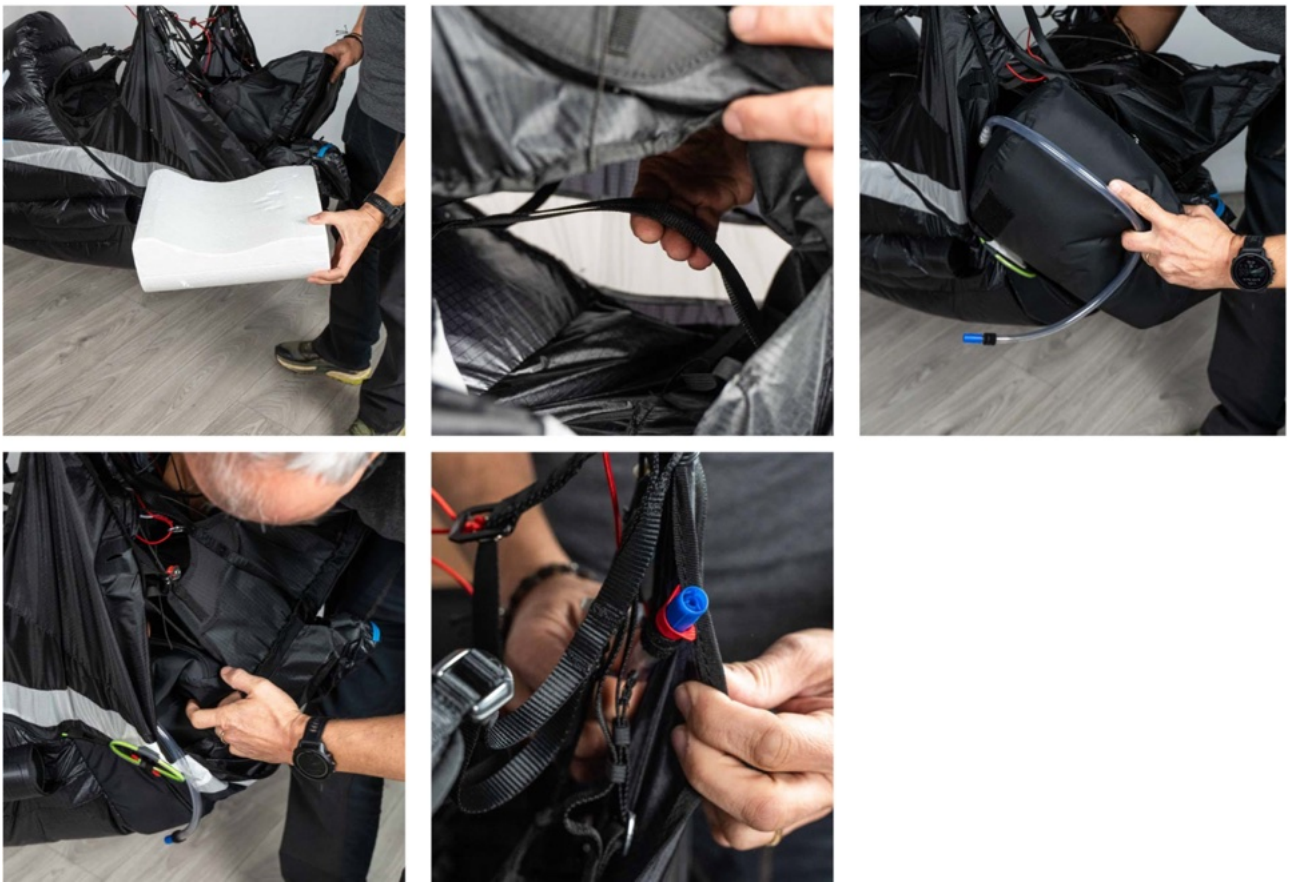
衝撃を受けるたびに、プロテクターを確認してください。変形もしくは破損が見られた場合は必ず交換をしてください。

7.1 バックプロテクションの定期点検

定期的にバックプロテクションの状態をチェックすることをお勧めします。破損もしくは、変形している場合は、プロテクターを交換する必要があります。

プロテクターを取り外すには、背中の腰部側面にアクセスし、プロテクターを固定しているゴムを外して引き出します。プロテクターをハーネスの後ろ側に押して、プロテクターが入っているポケットから引き出します。





プロテクションの完全性を点検したら、再度組み立てます。

インフレータブルプロテクション（AIRプロテクション）の場合は、膨らませるためのホースが後方に位置し、シートのすぐ後ろのハーネスの右側から出ていることを確認し、赤いゴムで固定します。

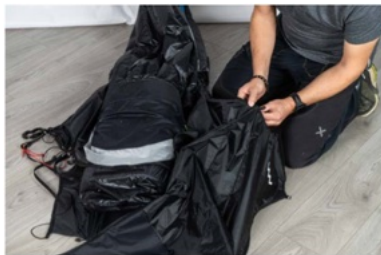
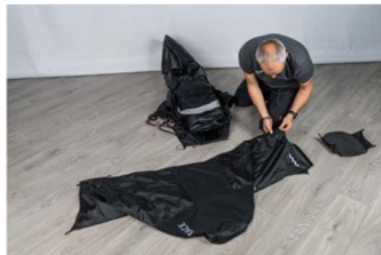
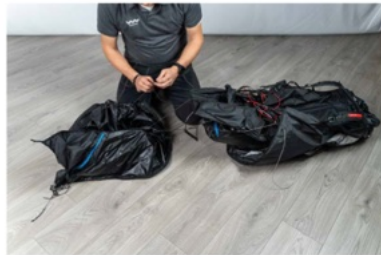
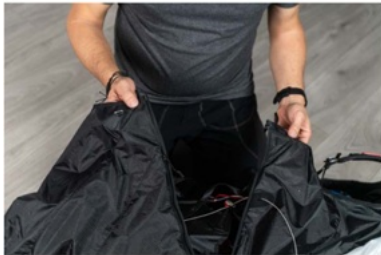
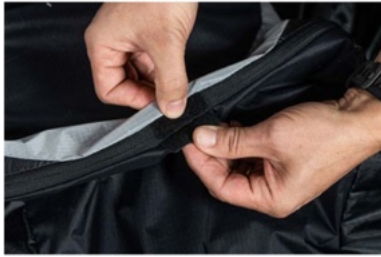
7.2 レッグカバーの交換

レッグカバーは、ハーネスの他の部分と同様、伸縮性のあるライクラ素材を使用しています。

耐久性を高めるために、いくつかの推奨事項に従ってください：

- 砂利道や研磨された路面でテイクオフする際は、ハーネスを地面に慎重に置き、引きずらないようにしてください。
- ライクラ素材に損傷を与える可能性のある金属製や突起物のあるスピードバーの使用は極力避けてください。
- ライクラ素材の伸縮性や表面に過度なストレスがかからないように、スピードバーを水平に押し、靴でレッグカバーを押し下げること避けてください。

RACEハーネスのレッグカバーにはジッパーが付いているため、必要に応じて交換することができます。交換する場合は、フットレストラインがレッグカバーに設けられた通路に正しく挿入されていることを確認してください。下の写真の通りです。



8- WoodyValley保証

法律で義務付けられている2年間の保証期間は、製造上の欠陥に起因する当社製品の構造上の欠陥を修正することを義務付けています。

ご購入後10日以内に、WoodyValley社ウェブサイトの「サポート」セクションにあるフォームにご記入の上、保証期間をご確認ください。バックポケットのシルバーラベルに記載されているハーネス識別コードを入力してください。

保証を請求する場合は、直ちに製造上の欠陥があることをWoodyValley社または正規代理店に連絡し、ハーネスの識別コードと発生した問題の詳細をお送りください。

欠陥のある製品を修理するには、WoodyValley社または認定された担当者までお送りいただく必要があります。

WoodyValley社は、修理、部品の交換、製品の交換など、ハーネスを修復するための最善の方法を決定する権利を有します。

メンテナンスの不備、不適切な保管、過負荷、極端な温度への暴露など、製品の不注意または不適切な使用に起因する損害は保証の対象外となります。また、事故、リザーブパラシュートの開傘ショック、通常の消耗による損害も同様となります。



9- ホモロゲーション証明書

AIR TURQUOISE SA | PARA-TEST.COM
Route du Pré-au-Comte 8 • CH-1844 Villeneuve • +41 (0)21 955 65 65
Test laboratory for paragliders, paraglider harnesses
and paraglider reserve parachutes



Harness inspection certificate - EN

Inspection certificate number: PH_347.2021

Impact pad number: n/a

Manufacturer data	
Manufacturer name:	Woody Valley srl
Representative:	Simone Caldana
Street:	Via Vienna 52
Post code / place:	30121 Trento
Country:	Italy

Sample data:	Harness	Impact pad
Name:	Crest	Name Impact pad: ⁽¹⁾ n/a
Type:	ABS	Impact pad integrated: ⁽¹⁾ Yes
Size:	M	Impact pad type: Airbag
Weight of Sample [kg]:	1.48	Weight of Sample [kg]: ⁽¹⁾ n/a
Serial number:	106 0115 0002	Serial number: ⁽¹⁾ n/a
Clip-in weight [kg]:	120	Date of reception:
Integrated container for rescue system:	Yes	21.09.2021
Volume container [cm ³]:	5200 max 4100 min	
Date of reception:	21.09.2021	

Test report summary	Structural test	Impact pad test
Result:	POSITIVE	POSITIVE
Place:	Villeneuve	Villeneuve
Date:	23.09.2021	27.09.2021

Issue data

Place of declaration: Villeneuve
Date of issue: 28.09.2021
Managing Director: Alain Zoller
Signature:

"This inspection certificate is NOT covered by accreditation D-15-19457-01."

This signature approves the validity of the test reports if available, no. 94.21a (test id 01.05.05.06.08.10.11.12.14 NGDT JRG/T) and no. 94.22 (test id P. PPE).
Air Turquoise SA, having thoroughly assessed the sample mentioned above, declares it was found conform with all requirements defined by the following norms:
European Standard EN1661:2018 and EN15491:2015

⁽¹⁾ If impact pad is NOT integrated in the harness, it will have independently inspection number, and serial number. Definition of integrated impact pad is impact pad which can not be dismounted from the harness, e.g. airbag.
Present declaration's scope only extends to the conformity of a given sample, on a given date and in a given place – as mentioned here above.
This inspection certificate contains the following test and is compliant with the test, if available, report: 94.21 and 94.22.

AIR TURQUOISE SA | PARA-TEST.COM
Route du Pré-au-Comte 8 • CH-1844 Villeneuve • +41 (0)21 955 65 65
Test laboratory for paragliders, paraglider harnesses
and paraglider reserve parachutes



Harness inspection certificate - Nfl

Inspection certificate number: PH_347.2021

Impact pad number: n/a

Manufacturer data	
Manufacturer name:	Woody Valley srl
Representative:	Simone Caldana
Street:	Via Vienna 52
Post code / place:	30121 Trento
Country:	Italy

Sample data:	Harness	Impact pad
Name:	Crest	Name Impact pad: ⁽¹⁾ n/a
Type:	ABS	Impact pad integrated: ⁽¹⁾ Yes
Size:	M	Impact pad type: Airbag
Weight of Sample [kg]:	1.48	Weight of Sample [kg]: ⁽¹⁾ n/a
Serial number:	106 0115 0002	Serial number: ⁽¹⁾ n/a
Clip-in weight [kg]:	120	Date of reception:
Integrated container for rescue system:	Yes	21.09.2021
Volume container [cm ³]:	5200 max 4100 min	
Date of reception:	21.09.2021	

Test report summary	Structural test	Impact pad test
Result:	POSITIVE	POSITIVE
Place:	Villeneuve	Villeneuve
Date:	23.09.2021	27.09.2021

Issue data

Place of declaration: Villeneuve
Date of issue: 28.09.2021
Managing Director: Alain Zoller
Signature:

This signature approves the validity of the test reports if available, no. 94.21 (test id 02, 03, 13, 08, 04, 14, 07) and no. 94.22 (test id P. PPE).
Air Turquoise SA, having thoroughly assessed the sample mentioned above, declares it was found conform with all requirements defined by the following norms:
Aerothermes Requirements Nfl, 2-865-20 - EN1491:2015 5.3.2

⁽¹⁾ If impact pad is NOT integrated in the harness, it will have independently inspection number, and serial number. Definition of integrated impact pad is impact pad which can not be dismounted from the harness, e.g. airbag. ⁽²⁾ If harness has an integrated inner container for emergency parachute, extra deployment tests are done for different type of emergency parachute.
Present declaration's scope only extends to the conformity of a given sample, on a given date and in a given place – as mentioned here above.
This inspection certificate contains the following test and is compliant with the test, if available, report: 94.21 and 94.22.

10ー テクニカルデータ

“ RACE ”	S	M	L	XL
シートとカラビナの距離	44.5 cm	47 cm	49 cm	51 cm
カラビナ間の距離(最小 - 最大)	34 - 43 cm	36 - 45 cm	38 - 47 cm	39 - 48.5 cm
ハーネス重量(メッシュポケット無し、PRSプロテクションの場合)	1778 gr	1879 gr	1962 gr	2034 gr
ネットポケット重量	16 gr			
コックピット重量	48 gr			
スピードバー重量	40 gr (フック込み)			
スタビライザー重量	89 gr			
PRS重量(セミリジッドプロテクション)	150 gr	170 gr	190 gr	190 gr
IPE重量(インフレーターブルプロテクション)	195 gr	195 gr	-	-
バックプロテクションタイプ	セミリジッド or インフレーターブル(Air)			
レッグベルトタイプ	ゲットアップ			
緊急パラシュートハウジング	サイドハンドル付きシート下コンテナ			
緊急パラシュート収容量(Mサイズ)	3600 - 5600 cm ³			
使用制限	120 daN			
ホモロゲーションナンバー	PH_422.2023			

この取扱説明書に記載の内容には万全の正確を期していますが、
記載内容はあくまで参考である事を御理解ください。

この取扱説明書は予告なく変更されるものです。RACEハーネスの最新の情報は、

WoodyValley社のホームページ

<http://www.woodyvalley.com>

あるいは、(株)スポーツオーパカイトのホームページ
でチェックしてください。

<http://www.opa.co.jp>

更新月日: 2024 年 1 月

